

【3】 基本理念と基本方針

3-1 本計画の基本理念

3-2 本計画の基本方針

3-1 本計画の基本理念

上位計画や関連計画の内容及び町内交通の実態と課題を踏まえて、本計画の基本理念を以下のとおりとします。

安全・快適な移動を支える持続可能な地域公共交通の実現

- 当別町では、人口減少や高齢化の進展への対応として、人口定住促進や交流人口拡大に向けた「住民や来訪者の移動ニーズへの対応」が求められています。
- 人手不足や運行コスト拡大が進む中、「サービス提供の持続性確保」が求められています。
- 上記の対応を進めるためには、「町内の交通事業者との連携」や交通事業者以外も含めた「地域の交通資源の総動員」が重要なポイントとなります。
- サービス提供側だけではなく、地域住民の公共交通利用意識を醸成することで「地域ぐるみでのサービスづくり」が求められています。



3-2 本計画の基本方針

上記の基本理念に基づき、課題解決に向けた本計画の基本方針を示します。

3-2-1 5つの基本方針

基本方針①

ニーズに合った持続可能な公共交通ネットワークの形成

J R 札沼線とコミュニティバスを軸として、住民や来訪者の移動ニーズに合った公共交通ネットワークの形成に向けて、サービスの見直し・改善を進めます。

基本方針②

地域にフィットするモビリティの導入

人口減少や高齢化といったニーズ変化を踏まえて、ライフスタイルやエリア特性にフィットしたモビリティの導入・転換を進めます。

基本方針③

デジタル技術活用等によるサービスの高度化・利便性向上

デジタル技術等を活用したモビリティの導入やサービス提供、環境整備等を進めることで、サービスの高度化と利便性の向上を図ります。

基本方針④

サービスの安定供給に向けたリソース不足等への対応

公共交通サービスを支える運転手確保・財源確保を着実に行うとともに、新型コロナウイルス等のリスク対応を十分に行いサービスの安定供給を図ります。

基本方針⑤

公共交通の利用促進とクルマ依存の脱却促進

戦略的かつ網羅的なモビリティ・マネジメントや利用促進キャンペーンを行い、公共交通利用者を増やすとともにクルマ依存からの脱却を目指します。

3-2-2 課題と基本方針の関係

以下に、本町の地域公共交通の課題と基本方針との関係を示します。

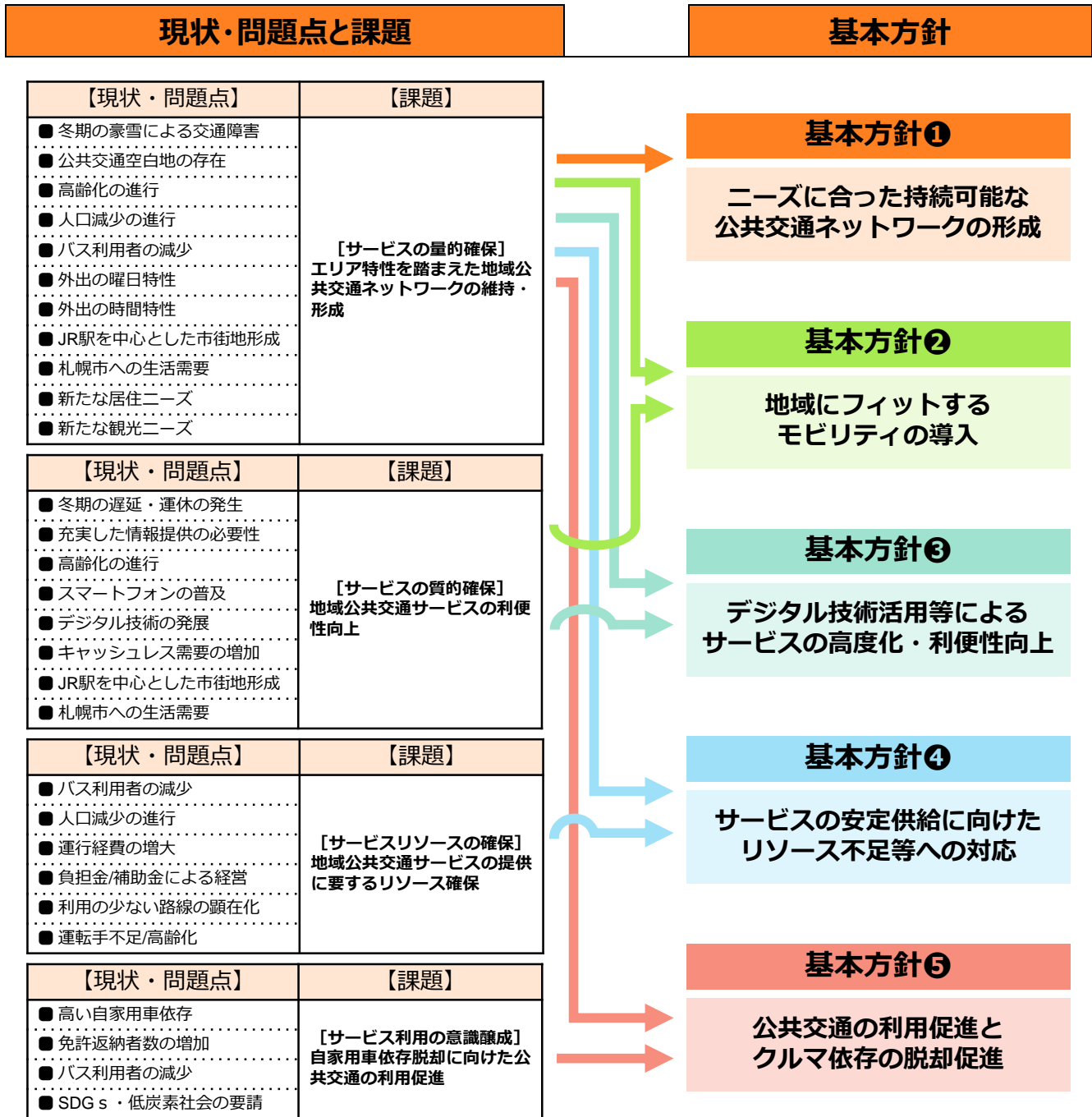


図 3-1 課題と基本方針の関係